

科目名 **生物研究**

普通科選択  
3学年・2単位

目標 細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を学ぶことにより、生物についての共通性と多様性の視点を身につける。生物には体内環境を維持する仕組みがあることを学ぶことにより、体内環境の維持と健康との関係について理解できるようになる。

位置づけ 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するたぐいめに必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

■使用する教材

- ・問題集
- ・プリント
- ・生物基礎の教科書

■学習する単元とおおよその時期

- ・第1章 生物の特徴 【 4～ 5月】
- ・第2章 遺伝子とその働き 【 6～ 8月】
- ・第3章 ヒトの体内環境の維持 【 8～10月】
- ・第4章 生物の多様性と生態系 【10～11月】
- ・問題演習 【11月～】

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

- ・授業は基本的に問題集に沿って進めるので、1年次の授業ノートや教科書を確認しておくことと授業時の理解度は上がる。
- ・問題演習は、演習後の解説確認も大切です。しっかりと確認する習慣を身につけましょう。

■観点別評価について

| 観点    | 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|-------|--|--|--|
| 評価基準  | A<br>・授業内容を理解し、自分の言葉で説明することができる。<br>・実験や観察を手順通りに行うことができ、各手順や試薬等の役割を理解している。 | ・教科書の間や授業時の教員の発問に対し、推測⇒考察することで自身の考えをまとめ、周囲と共有し、考えを深化させることができる。 | ・予習⇒授業⇒復習の中で、見直しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 |
|       | B<br>・授業内容を理解している。<br>・実験や観察を手順通りに行うことができる。                                | ・教科書の間や授業時の教員の発問に対し、推測し、周囲と共有することができる。                         | ・学びを振り返り、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。                                 |
|       | C<br>上記が達成できていない   | 上記が達成できていない  | 上記が達成できていない  |
| 評価の場面 | 単元テスト、小テスト<br>課題(レポート)の提出内容  | 単元テスト<br>授業中の発言内容  | 授業中の参加態度<br>課題等の提出状況   |

■単元テスト予定表

| テスト回 | 章   | 分野         | 実施予定(月) |
|------|-----|------------|---------|
| 1    | 第1章 | 生物の特徴      | 6月      |
| 2    | 第2章 | 遺伝子とその働き   | 8月      |
| 3    | 第3章 | ヒトの体内環境の維持 | 10月     |
| 4    | 第4章 | 生物の多様性と生態系 | 11月     |

